

令和 6 年度 栗東市社会教育関係事業報告について

生涯学習課

生涯学習推進事業

1. 社会教育委員事業

(内 容) 社会教育に関する諸計画・事業及び社会教育関係団体への支援に係る調査審議を行いました。

市関係

- 第 1 回栗東市社会教育委員会議 7 月 25 日 (木) 危機管理センター 3 階 大研修室
- 第 2 回栗東市社会教育委員会議 1 月 31 日 (金) 危機管理センター 3 階 大研修室

近畿・県関係

- 近畿地区社会教育研究大会 (京都大会) 9 月 6 日 (金)
 - (奥野委員、奥村委員、西尾委員、事務局参加)
 - ・記念講演 演題：祇園祭「鷹山」196 年ぶりの復活
～人がつながり、想いをつなぐ～
講師：山田 純司氏、小町 崇幸氏、池田 有爾氏 (公財鷹山保存会)
鷹山保存会囃子方
- 滋賀県社会教育委員連絡協議会第 1 回理事会
 - ・ 7 月 12 日 (金) 13:30～ (奥野委員、事務局参加)
 - 会場：県庁新館 7 階大会議室
 - 役員改選
 - 令和 5 年度事業報告および決算報告
 - 令和 6 年度事業計画 (案)・予算 (案)
 - 「滋賀の社会教育委員活動ハンドブック」の改訂
 - 情報交換
- 研修会
 - ・ 8 月 2 日 (金) 13:30～ (奥野委員、事務局参加)
 - 会場：県庁新館 7 階大会議室
 - ・講演 演題「まぜて・ちらして・つなぐ～多世代で共に育む地域の未来～」
講師 上田 洋平 氏 (滋賀県立大学地域共生センター特任講師))
 - 事例報告・・・「市民大学たかしまアカデミーの取組」
報告者 中川知香氏 (高島市社会教育委員)
 - 情報交換・交流

○滋賀県社会教育研究大会および滋賀県社会教育委員連絡協議会第2回理事会

・11月11日（月）10:00～（奥野委員参加）

会場：県庁 東館7階 大会議室

滋賀県社会教育研究大会 進行確認

情報交換

・11月11日（月）13:30～（奥野委員、朽木委員、事務局参加）

表彰式

講演 「地域防災の現状と課題～社会教育の担う役割～」

講師 江波 維求氏（滋賀県知事公室防災危機管理局主事）

情報交換会

○滋賀県社会教育委員連絡協議会第3回理事会 （奥野委員・事務局参加予定）

・2月4日（火）14:00～

会場：新館7階大会議室

令和7年度 研修会について

その他

情報交換

（成果・課題）

近畿地区社会教育研究大会や滋賀県社会教育研究大会などに参加いただいたことで、社会教育委員としての見識を深めていただくことができました。また、県内外各地で活躍されている社会教育委員との情報交換の場は、活動の現状についての認識を深めることもできました。これから一人でも多くの社会教育委員がさまざまな研修会に積極的に参加し、今後の社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりに活かせるような意見交流の機会が重要で、できる限り早期に案内していく予定です。

2. 生涯学習推進事業

（内 容）地域における生涯学習のまちづくりを推進するリーダーの育成のための講座の開催を予定しています。

<1回目>

2月16日（日）10:30～12:00 コミュニティセンター治田東 大会議室

ガーデニング講座

～可愛いパステルカラーのバスケット寄せ植え～

講師：大井泰代 氏（花庭アベリーレ代表）

募集人数：30名

参加負担金：3,000円（実費材料費）

<2回目>

3月8日(土) 10:30~12:00 コミュニティセンター大宝東 大会議室

演題：スマホを活用したカメラ術

～効果的に撮影するテクニックやコツを学びませんか～

講師：株式会社富士商会 西田雅彦写真工房 代表取締役 西田 雅彦 氏

3. 生涯学習情報提供事業

(内 容) 生涯学習に関する情報の提供をします。

○生涯学習人材バンクへの登録募集と登録者の紹介(12人)

○生涯学習活動団体の登録と活動の紹介(36団体)

(成果・課題)

市民からの問合せに対し、人材バンク登録者や活動団体の紹介を行いました。

ライフスタイルの多様化により、地域活動などで余暇を過ごすだけでなく、気のあった仲間同士で余暇を過ごされる方が多くなり、地域リーダーが年々減ってきている現状から、生涯学習講座などを開催するなかで、将来、地域でリーダーとして活動していただける人材を育成する必要があります。

また、ボランティア市民活動センターとホームページにリンクを貼り、情報の共有と双方の有効的な活動支援を行いました。

4. 人権教育巡回講座事業

(内 容) 人権に係る市民への啓発研修事業として、「人権教育巡回講座」を研修内容の一層の充実と参加者層の拡大をめざし、主として各学区住民が参加の対象となる各中学校区の人権教育地域ネット協議会の「小学校区運営委員会主催の研修事業」に兼ねるという形で、下記の開催実績のとおり実施しました。

☆「人権教育研修会」開催実績

学区	開催日時	会場	講師・形態	人数	テーマ
金勝	12/13(金) 19:00~20:30	コミセン金勝	野村幹夫 さん (福々亭ポン太 さん)	64人	『～笑いは健康の源～ 身近な人権についてみんなで考えてみましょう』
葉山	11/26(火) 10:45~11:45	葉山小	河口守男 さん	26人	『人権について考えよう!』
葉山東	1/15(水) 9:45~11:45	葉山東幼稚園	にじいろi-Ru(アイル) 田中一步さん 近藤孝子さん	95人	『性の多様性から『じぶん』について考える』 ～誰もが排除されない社会をめざして 子どもたちとの出会いからみえてきたこと～
治田	12/21(土) 13:00~14:00	治田保育園	蓬郷由希絵 さん	82人	『私が笑って育てた子は知的障がいを伴う自閉症児ときょうだい児』

治田東	11/17(日) 10:00～11:15	コミセン治田東	yokko さん	約450 人～ 460人	『sign! sing!! smile!!! ♪手話と歌で 笑顔になろう!』
治田西	11/29(金) 18:00～19:30	コミセン治田西	田邊朋子 さん	55人	『あるがまま 共にいること 生きること』 ♪ミュージックケアを楽しみましょう♪
大宝	11/24(日) 17:00～18:00	栗東駅前	yokko さん	約200 人	人権コンサート『星空コンサート』
大宝東	11/17(日) 10:00～13:00	ウイングプラザ ポケット広場	ステージ発表	約300 人	ふれあいフェスタ2024
大宝西	12/7(土) 10:20～12:00	ひだまりの家	グループ討議	39人	『大人が学ぶ 十里まちづくり学習』& 意見交流会

(成果・課題)

「小学校区人権ネット研修会」と兼ねて学区ごとに開催しました。学区ごとのニーズを受け止め、多くの方々に参加していただき、有意義な研修会を開催することができました。特に、各学区で人権啓発のための独自のテーマを設けて実施することで、人権意識の向上につながりました。今後、さらに多くの方に参加をいただき、学区全体に学びの輪が広がるように研修会の持ち方を検討していきたいと思えます。また、取り組みを通して、差別への憤り、差別をなくすことの大切さを感じ、さらに意見交流することで、自分を見つめ直し、自分に問い直す機会となり、これからの生き方について考えることができました。

5. コミュニティセンター等における社会教育事業

(内 容) コミュニティセンター、児童館、環境センターにおいて、多様で充実した学習機会や情報の提供や交流等のための各種事業を実施しました。

○はつらつ教養大学事業

全コミュニティセンターで45回開催を予定し、現在では2月開催の9回を残すのみです。学区によってはコミセン独自事業としてカウント講座が開催されました。

主な内容：健康運動、健康維持、健康管理、認知症予備、安心安全、食生活、音楽に親しむ、芸能に親しむ、クラフト講座など日常生活が楽しく豊かになる講座内容で提供しました。

○社会教育重点3事業

3つの重点テーマを設け、各テーマについて実施しました。

重点テーマ：

- ① 子育て……親子英語、親子お菓子作り、親子リトミック、親子ストレッチ運動
- ② まちづくり…平和学習、防災(滋賀県の気象特性と防災気象情報)、認知症予防体験セミナー、相続・贈与・年金の話

- ③ 環境……………ゴーヤでグリーンカーテン、ホテルの観覧会、食品ロス減量(環境センター施設見学)、フードマイレージと食品ロスや地球温暖化防止等

(成果・課題)

「はつらつ教養大学事業」については参加者に対して行うアンケートによる意向調査をもとに、各コミセン並びに学区の受講者と協議を行いニーズにあった講座を開催することができました。参加した回数により表彰を受けられるため、参加意欲が高められ、生涯学習への関心を持つことができました。参加者の固定化も一部見受けられることから、より多くの高齢者に参加していただけるよう広く啓発することや、時代にあった内容や設定を工夫して取り組んでいます。

「社会教育重点3事業」では、広く市民に広報媒体を活用して周知し、参加への気運を高めています。

6. 社会教育ボランティアとの連携事業

(内 容) 社会教育ボランティア「もくもく会」の企画・運営による社会教育事業の実施及び地域社会への貢献活動に対する支援と連携を行いました。

○「知って得する講座」

6月10日(月) 10時～12時 コミュニティセンター治田東

◎講話：「バランス食で腸内環境を整える」

講師：管理栄養士 市木圭子 氏

◎演奏： マッキー＆ジョーさんによるハーモニカ演奏とギター弾き語り

(成果・課題)

第1部では、毎日欠かすことのできない食事の大切さを学び、今一度改め直す機会となりました。

第2部の演奏では、久しぶりに聴くことができ、楽しくまた感動し満足していただきました。

今回の講座をもって、27年の長期にわたり「知って得する講座」や「歴史探訪」等、企画・運営・実施に当課と携わっていただいた「もくもく会」の皆様には会員メンバーの減少や高齢化等の状況から、活動を終了されることになりました。これまでのご活躍に感謝いたします。

青少年教育推進事業

1. 「放課後子ども教室」推進事業

(内 容) 地域で子どもを育てる環境の整備と子どもを中心とした地域住民の交流を推進することができました。

○放課後子ども教室 5月～2月 8小学校区(葉山を除く)

(成果・課題)

スタッフの皆様のご協力のもと、子どもたちの放課後の居場所づくりを行うことができました。未実施の小学校区においては、実施に向けての説明の機会をいただき、今後も継続的に協議を進めていく予定です。

スタッフの減少及び高齢化が長年の課題であり、様々な場面で声掛けをしていますが今後も保護者などにも呼びかけていく予定です。

2. アドベンチャーキャンプ事業

(内 容) 集団生活を通じて自己を見つめ、友情を育み、仲間づくりの大切さと素晴らしさを理解し、創造性や自立心を身につけ、地域の青少年活動リーダーを養成することができました。

- 出会いと交流のつどい 10月26日(土) 学習支援センター
- 自然体験研修 11月2日(土) 伊賀の里 モクモク手づくりファーム
- 自然体験研修・思い出と友情のつどい
11月23日(土) 滋賀県希望が丘文化公園

(実施主体) 栗東市アドベンチャーキャンプ実行委員会

参加者 小学生13名、中学生1名、実行委員7名、生涯学習課3名 計24名

(成果・課題)

野外活動等を通じて、仲間と協力しあうことの大切さを感じることができました。

小学生から参加してくれている中高生リーダーがこれからも継続して活動に参加することで、将来の指導者へと育ってくれるよう育成していく必要があります。

また、これからの栗東を担っていく世代である実行委員会を組織している大学生リーダーを、継続して育成していけるような事業のあり方を検討していく予定です。

3. 青少年育成(活動)団体事業

(内 容) 青少年育成(活動)団体との連携及び支援を行いました。

- 栗東市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
- 栗東市PTA連絡協議会
- 栗東市少年少女発明クラブ

(成果・課題)

青少年育成活動を行っている団体に対する活動の支援につながりました。

4. 栗東市人権問題青年集会事業

(内 容) 人権問題に対する正しい理解と解決に向けての意識改革の推進を目的に、市内在住・在勤の青年に「人権問題」について何ができるのかを考えてもらい、差別のない社会の実現をめざします。

実行委員会

- 第1回目 10月11日(金) 実行委員会
- 第2回目 10月19日(土) 大宝西ふれあい解放文化祭
- 第3回目 11月10日(日) じんけん広場ふれあい文化祭

第4回目 3月頃(予定) 視察研修(予定)

第5回目 3月頃(予定) 実行委員会

(委託先) 栗東市人権問題青年集会実行委員会

(成果・課題)

大宝西ふれあい解放文化祭とじんけん広場ふれあい文化祭に参加し、発表や展示を見ることから差別問題は身近な問題であることを再認識できました。今後も地元で活動する青年部とも交流を深め、より深く自分のこととして考えられるような研修等の機会の設定を検討していきます。

5. 子ども読書活動推進計画の推進と進捗管理

(内 容) 第3次子ども読書活動推進計画(計画期間 令和2年度～令和6年度までの5年間)の推進と進捗管理を行います。また、第4次子ども読書活動推進計画(計画期間: 令和7年度～令和11年度までの5年間)の策定を行います。

(成果・課題)

学校教育課、図書館、こども家庭センター、子育て支援課、ひだまりの家など子どもの読書活動推進に関係する所属間で、子どもたちが読書に興味をもってもらえるよう、また個々の取組について協力しあいながら推進していけるようより一層の連携が必要です。

青少年対策(育成)事業

1. 青少年問題協議会

(内 容) 青少年問題の現状と課題について市及び関係機関の間で取り組みに関し審議・意見交換を行い、家庭や地域の教育力の向上と青少年の健全育成団体等のネットワークづくりに向けての協議を行います。

青少年問題協議会の方向性が決定していないことから、今年度の協議会の開催は未実施となりました。今後の協議会の方向性について検討します。

2. 青少年育成市民会議事業

(内 容) 地域教育力の回復と健全な環境での青少年育成及び青少年の自主的活動の支援を行いました。

○中学生広場「私の思い2024」栗東市大会 7月6日(土) さくら中ホール

○青少年育成ミニ会議の推進 (期間) 7月～2月 各自治会で実施予定 28自治会

○「愛のパトロール」研修会 6月15日(土) なごやかセンター

○愛のパトロール・愛の声かけ(期間) 4月～3月

○白ポスト有害図書回収 (期間) 4月～3月

○子ども110番通報訓練 (期間) 5月～ 市内園児・小学生対象

24の幼保、小学校で実施

- 栗東市青少年育成大会 1月25日(土) さくら大ホール
- 子ども110番旗の設置拡大への支援(「子ども110番の家」の旗810枚作成)
- 情報誌「息吹」発行 年2回(9月・3月)
- ありがとうと言える子育て運動の推進
- 子育てのための12か条の推進

(成果・課題)

地域に根ざした市民団体として、青少年の健全育成を目的に「ミニ会議」の開催や「愛のパトロール」を実施することで青少年についての地域的課題の解決や保護者同士の連携を深めることに努めてきました。

青少年は地域で育てることを基盤に、大人が姿勢を正し、青少年を応援する地域づくりに向けて関係団体が共通認識をして協力しあえるように今後も働きかけていく予定です。

3. 社会を明るくする運動推進委員会事業

(内 容) 青少年の非行防止と罪を犯した人への更生保護(7月強調月間)に向けた啓発活動を行いました。

- 社会を明るくする運動栗東市推進委員会 6月28日(金) 書面開催
- 社会を明るくする運動法務大臣メッセージ伝達式 7月2日(火)(規模を縮小して実施)
- 街頭啓発 7月1日(月)(市内大型量販店において啓発用品の配布を実施)
- 愛の募金運動 7月～3月 自治会
- 非行防止懇談会・ケース研究会 7月～3月 自治会・団体

(成果・課題)

今年度においても街頭啓発も実施し、青少年の非行防止と罪を犯した人への更生保護に向け、各関係団体で研修会の開催や、啓発活動を行いました。また、学びを継続できる環境づくりということで、学習活動への支援を行いました。今後は効果的な啓発活動ができるよう関係機関や諸団体と協力し、継続して取り組む予定です。

4. 少年センター・少年補導委員事業

(内 容) 青少年を非行から守り、健全に育てるため、学校、地域、関係機関と連携して少年の非行防止と青少年の健全育成をめざしました。

- 街頭補導活動
- 相談・無職少年対策活動
- 有害環境浄化・薬物乱用防止活動
- 啓発活動

(成果・課題) 少年センター事業報告による

5. はたちのつどい事業

(内 容) 今年度 20 歳を迎えられた方々への祝福及び社会における大人としての義務と責任を促しました。

○はたちのつどい 1月12日(日) さくら 大ホール

○はたちのつどい実行委員会 7月～12月 学習支援センター

(成果・課題)

今年度は、実行委員会9名による式典の協力と実行委員会企画による記念行事を開催することができました。

市内3中学校からそれぞれ出身の青年が実行委員として参画してもらえよう早期から募集していきます。

6. 自然体験学習センター「森の未来館」管理業務

(内 容) 豊かな自然の中で集団生活と宿泊研修を通じて、豊かな心を育み、明るくたくましい青少年を育成するとともに生涯学習の振興を図りました。

指定管理者・・・株式会社フォレストアドベンチャー(令和4年度～令和6年度)

(成果・課題)

利用者視点での運営を心がけ、ニーズにあったサービスの提供、また、迅速な対応を継続することにより、前年に比べ利用者数は増加傾向にあります。

今後においても金勝山周辺施設とも連携し、豊かな自然環境を活用しながら、心豊かで明るくたくましい青少年を育成するため、利用者の満足度を向上させる工夫に努め、魅力ある施設づくりを目指します。

今年度の少年センターの活動は、「栗東市少年センター活動計画」に掲げた基本方針に基づき、市少年補導委員会をはじめ、青少年育成関係機関・団体と連携しながら工夫した活動を進めた。

I 基本方針における取組の重点

(1) 非行防止・啓発事業の推進

- ① 小学生や中学生を対象とした、非行防止教室や薬物乱用防止啓発活動の実施
- ② 青少年健全育成のための出前講座（トーク）の実施
- ③ 少年センターの活動についての市民へのお知らせと、相談活動の実施
- ④ 子どもの健全な発育に害を与える恐れのある有害環境浄化活動の実施

(2) 非行少年対策事業の推進

- ① 街頭補導活動（下校時の安全確保や不良行為防止への呼びかけと注意）の実施
- ② 学校からの要請による対象児童生徒への学校支援・通所指導等の実施
- ③ 無職少年への就学や就労相談の実施

(3) 広域犯罪への警戒と防止啓発

- ① 薬物乱用防止やインターネット上の加害・被害防止に向けた啓発活動の実施
- ② 広報啓発（少年センターだよりの発行）

(4) 関係機関や団体との連携と協働

- ① 少年補導（委）員会との協働・連携
- ② 学校や関係機関との連携
- ③ 各種研修会等への参加による資質の向上

2 令和6年度事業報告

(1) 非行防止・啓発事業の推進

① 小学生や中学生、高校生等を対象とした、非行防止教室や薬物乱用防止啓発活動等の実施

少年補導委員会啓発部会、草津警察署と協働して非行防止教室や薬物乱用防止啓発活動を実施した。

○6月・7月「非行防止教室」（小学4年生対象）

- ☐ 万引きが窃盗罪である有責性、違法性、規範意識向上、小学生の処遇について
・ビデオ視聴「君ならどうする？万引き」（啓発プレゼン資料）
- ☐ 少年補導委員・草津警察署生活安全課員による講話
・初発型非行：万引き・自転車盗などについて ・夏休みの生活について

■実施状況

No.	日 時	小学校	従事者
1	6月24日（月） 4時限目 11:25～12:10	治田西小学校4年生（90名）	☐ 少年センター2名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
2	6月26日（水） 3時限目 10:40～11:25	大宝東小学校4年生（71名）	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
3	6月27日（木） 3時限目 10:45～11:30	葉山東小学校4年生（86名）	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名

4	7月 1日 (月) 4時限目 11:30~12:15	治 田小学校4年生 (127名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
5	7月 4日 (木) 6時限目 14:35~15:20	金 勝小学校4年生 (47名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
6	7月 8日 (月) 3時限目 10:45~11:30	大宝西小学校4年生 (61名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会4名 ☐ 草津警察署1名
7	7月11日 (木) 3時限目 10:45~11:30	葉 山小学校4年生 (74名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
8	7月12日 (金) 3時限目 11:30~12:15	大 宝小学校4年生 (82名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
9	7月17日 (水) 2時限目 9:35~10:20	治田東小学校4年生 (80名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名



○10月・11月「薬物乱用防止教室」(小学校6年生対象)

- ☐少年補導委員による「薬物乱用」、「危険な薬物」、「たばこの喫煙」の違法性等の解説
 - ・薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」(リーフレット)(プレゼン資料)
- ☐草津警察署生活安全課員による講話
 - ・薬物乱用の実際と危険性について

■実施状況

No.	日 時	小学校	従事者
1	10月22日(火) 6時限目 14:35~15:20	治 田小学校6年生 (106名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会4名 ☐ 草津警察署1名
2	10月29日(火) 2時限目 9:30~10:15	治田西小学校6年生 (75名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会4名 ☐ 草津警察署1名
3	10月30日(水) 3時限目 10:40~11:25	大 宝小学校6年生 (90名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
4	11月 7日(木) 3時限目 10:45~11:30	大宝西小学校6年生 (68名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
5	11月 8日(金) 3時限目 10:45~11:30	葉 山小学校6年生 (71名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
6	11月11日(月) 5時限目 13:45~14:30	金 勝小学校6年生 (67名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会2名 ☐ 草津警察署1名
7	11月18日(月) 3時限目 10:40~11:25	大宝東小学校6年生 (59名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名
8	11月20日(水) 2時限目 9:35~10:20	治田東小学校6年生 (81名)	☐ 少年センター1名 ☐ 補導委員会3名 ☐ 草津警察署1名

○10月「薬物乱用防止啓発パネル巡回展示」(市内中学校、県立高等学校等対象)

- ☐学校のエントランスの一角に展示コーナーを設け、県薬務課から借用した薬物乱用防止啓発パネル8枚を各校2日間展示する。
- ☐薬物乱用防止啓発物品をパネル横に設置し、配付する。

■実施状況

No.	展示日時	実施校	従事者
1	10月 1日(火)～ 2日(水) 8:30～15:00	栗 東中学校(700名)	□少年センター2名
2	10月 3日(木)～ 4日(金) 8:30～15:00	栗東西中学校(886名)	□少年センター2名
3	10月 7日(月)～ 8日(火) 10:00～15:00	葉 山中学校(436名)	□少年センター2名
4	10月 9日(水)～10日(木) 8:30～15:00	滋賀県立栗東高等学校(545名)	□少年センター2名
5	10月15日(火)～16日(水) 10:00～15:00	滋賀県立聾話学校(40名)	□少年センター2名
6	10月17日(木)～18日(金) 8:30～15:00	滋賀県立国際情報高等学校(703名)	□少年センター2名



○2月「幼稚園等における非行防止教室」(5歳児対象)

□法律や決まりを守り、家族や周囲の人々の安全や安心を大切にすることを理解させ、幼児一人ひとりの初発型非行防止に関わる規範意識を高める。

・紙芝居教材「これって、いいの？」 (啓発プレゼン資料)

□草津警察署生活安全課員による講話

・不審者の対応について

■実施状況

No.	日 時	幼稚園・保育園・幼稚園・こども園	従事者
1	2月17日(月) 9:45～10:15	金勝こども園 5歳児(35名) ※保護者参観あり	□少年センター1名 □補導委員会3名 □草津警察署1名
2	2月19日(水) 10:00～10:40	葉山東幼稚園 5歳児(68名)	□少年センター1名 □補導委員会3名 □草津警察署1名
3	2月20日(木) 9:45～10:30	治田幼稚園 5歳児(63名) ※保護者参観あり	□少年センター1名 □補導委員会3名 □草津警察署1名
4	2月26日(水) 10:00～10:40	大宝こども園 5歳児(45名)	□少年センター1名 □補導委員会3名 □草津警察署1名
5	2月27日(木) 10:00～10:30	葉山幼稚園 5歳児(54名) ※保護者参観あり	□少年センター1名 □補導委員会3名 □草津警察署1名

② 青少年健全育成のための出前講座の実施

○自治会研修会等に講師として参加し、青少年の非行防止と健全育成等の啓発に努めた。

■栗東市まちづくり出前トーク・研修会等への出講実施状況

No.	実施日	出講先	テーマ	派遣職員
1	7月17日(水)	金勝学区社明運動	少年非行の現状について ～青少年に望むこと～	所 長 鎰廣 修 補導員 中村里美
2	7月20日(土)	大宝西学区社明運動	少年非行の現状について ～青少年に望むこと～	所 長 鎰廣 修 補導員 中村里美

3	8月 6日(火)	出庭中自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所 長 鎰廣 修
4	10月26日(土)	今土自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所 長 鎰廣 修
5	10月26日(土)	下戸山グリーンハイツ自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所 長 鎰廣 修
6	11月24日(日)	小平井二区自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所 長 鎰廣 修 補導員 中村里美
7	12月 1日(日)	小柿二区自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所 長 鎰廣 修
8	12月14日(土)	小平井三区自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所 長 鎰廣 修 補導員 中村里美

③ 少年センターについての周知と、「相談活動」の充実

○少年センターパンフレットの配付を行った。

少年センターでの事業をお知らせし、センターの利用促進のためのパンフレットを作成し、様々な研修会や出前トーク等で青少年育成関係者や市民への配付を行った。また、小学校・中学校の卒業生に、センターからのメッセージとともにパンフレットを配付した。

○青少年の非行等に関わる相談活動の充実に努めた。

少年自身や保護者、教職員、地域の育成関係者からの非行や不良行為等の問題行動、立ち直りに関する相談を受理し、助言および支援とともに、就労や就学支援相談についても努めた。

■実施状況

1) 相談方法

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
来所(面接)	22(10)	40(10)	16(1)	11(6)
電話	11(5)	11(5)	16(0)	65(11)
メール	0	0	0	2(0)
訪問	28(10)	35(3)	76(19)	123(50)
計	61(25)	86(18)	108(20)	201(67)

2) 相談者

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
本人	1(0)	1(1)	7(0)	108(48)
家族	4(2)	0(0)	11(0)	40(6)
学校	37(17)	73(15)	75(19)	44(10)
関係機関等	19(6)	12(2)	15(1)	9(3)
計	61(25)	86(18)	108(20)	201(67)

3) 相談者学職別

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
無職少年	2(1)	1(0)	1(0)	3(0)
有職少年	0(0)	1(0)	0	0
高校生	3(2)	15(6)	5(0)	7(3)
中学生	36(14)	32(6)	30(1)	19(16)
その他	20(8)	37(6)	72(19)	172(48)
計	61(25)	86(18)	108(20)	201(67)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
盗癖・窃盗	6(5)		1(1)	3(0)

4) 相談内容

暴力行為		2(0)	20(0)	3(1)
たかり・恐喝				
薬物乱用		3(2)		
飲酒・喫煙	2(0)			
深夜徘徊・無断外泊		1(0)		14(14)
暴走行為	5(0)			
不登校		1(0)	13(0)	40(0)
学校学業・怠学	36(15)	65(11)	47(2)	101(36)
就職・就学	4(2)	3(0)		
家庭・しつけ	3(2)	7(5)	18(13)	1(0)
性・性格				3(3)
交友・いじめ	5(1)		1(1)	34(13)
その他		4(0)	8(3)	2(0)
計	61(25)	86(18)	108(20)	201(67)

④ 子どもの健全な発育に害を与える恐れのある環境浄化活動の取組み

コンビニや量販店等を訪問して、健全育成条例に従った展示や販売がしてあるかの確認や指導を行い、有害環境から子どもを守る活動を推進した。

(ア) 有害図書等取扱店・刃物類取扱店への立入調査

- ・立入調査は毎月2回、図書等取扱店（図書・DVD・ゲームソフト・有害玩具等取扱店）及びカラオケ店等に対し県条例遵守事項（図書等取扱店⇒有害指定商品の有無・陳列方法・販売方法・管理状況、ネットカフェ・カラオケ⇒営業時間・入場制限等）が適切に行われているかの調査を実施した。
- ・営業者等に条例に関する知識や遵守事項を指導し、青少年への適切な対応について協力依頼した。
- ・一斉調査期間（10月1日から11月30日までの間）の立入調査は、高等学校、警察等関係機関に協力依頼し、図書等取扱店2回、刃物類取扱店3回を増加して実施した。

■実施状況（図書等取扱店⇒図書・DVD・ゲームソフト・有害玩具等取扱店）

立入調査対象店舗	店舗数	実施延べ店舗数	指導延べ店舗数
図書取扱店	32	122	0
DVD 取扱店	3	12	0
ゲームソフト取扱店	2	8	0
有害玩具（エアガン）取扱店	1	4	0

■実施状況（刃物類取扱店⇒一般刃物・有害刃物具取扱店）

立入調査対象店舗	店舗数	実施延べ店舗数	指導店舗数
刃物類取扱店	30	30	0
有害刃物取扱店	0	0	0

■実施状況（ネットカフェ⇒図書貸出・カラオケ店）

立入調査対象店舗	店舗数	実施延べ店舗数	指導店舗数
カラオケ	1	5	0
ネットカフェ	1	5	0

(イ) ゲームセンター巡回

- ・青少年の健全利用が行われるよう、ゲームコーナーを巡回し、店側への啓発および協力依頼した。（店舗数1）

(2) 非行少年対策事業の推進

学校や地域社会における不良行為や非行は、地域住民の安心・安全を揺るがすものであり、その対策は、青少年の健全育成の面からも重要である。個々の少年の状況に応じて課題解決に向けた支援を行い、対象少年の立ち直りに努めた。

① 街頭補導活動の実施

(ア) 通常街頭補導（夕方・夜間）

・センター職員、少年補導委員、学校教員等で実施。

■実施状況

No.	実施月日	時 間	従 事 者（人 数）		関係機関
			センター	補導委員	
1	4月 8日（月）	15:30～16:30	2	—	
2	4月19日（金）	15:30～16:30	2	—	
3	4月22日（月）	15:30～16:30	2	—	
4	5月 7日（火）	15:30～16:30	2	—	
5	5月17日（金）	15:30～16:30	2	—	
6	5月24日（金）	15:30～16:30	2	—	
7	6月 3日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者（欠席）
8	6月14日（月）	19:00～20:00	1	1	
9	6月24日（金）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
10	7月 8日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
11	7月16日（火）	19:00～20:00	1	3	
12	7月22日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
13	8月 5日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
14	8月16日（金）	19:00～20:00	1	3	
15	8月26日（月）	15:30～16:30	1	1	
16	9月 9日（月）	15:30～16:30	1	3	
17	9月20日（金）	19:00～20:00	1	3	
18	9月24日（火）	15:30～16:30	1	3	
19	10月 7日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
20	10月18日（金）	19:00～20:00	1	1	
21	10月28日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
22	11月 5日（火）	15:30～16:30	1	0	学校関係者（欠席）
23	11月15日（金）	19:00～20:00	1	2	
24	11月25日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
25	12月 9日（月）	15:30～16:30	1	2	
26	12月20日（金）	19:00～20:00	1	3	
27	12月23日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者（欠席）
28	1月 6日（月）	15:30～16:30	1	3	
29	1月17日（金）	19:00～20:00	1	3	
30	1月27日（月）	15:30～16:30	1	3	
31	2月 3日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
32	2月14日（金）	19:00～20:00	1	3	
33	2月25日（火）	15:30～16:30	1	3	
34	3月 3日（月）	15:30～16:30	1	2	学校関係者1
35	3月14日（金）	19:00～20:00	1	3	
36	3月24日（月）	15:30～16:30	1	3	
合計	36回		42		

(イ) 特別街頭補導

・社会を明るくする運動期間および高等学校生徒指導連協との一斉街頭補導に、少年センター・保護司会・高等学校等の関係機関・団体と合同で数日間実施している。また、中学校卒業式にあわせて、特別街頭補導を実施した。

(ウ) 地域補導（学区別街頭補導）

・各小学校区単位（9小学校区）で、少年補導委員の幹事が中心に計画し、毎月学区内で実施した。

■実施状況

月	回数	実施学区・人数	従事者（延人数）
			補導委員
4月	5回	金勝⑥ 大宝・大宝東③ 治田④ 大宝西④ 治田東⑤	22
5月	5回	金勝⑤ 治田東⑤ 治田③ 治田西④ 大宝西④	21
6月	8回	金勝④ 治田東⑤ 葉山東③ 葉山③ 治田④ 大宝・大宝東④ 大宝西④ 治田西④	31
7月	7回	葉山③ 葉山東⑤ 金勝④ 治田③ 大宝・大宝東④ 大宝西③ 治田西②	24
8月	9回	治田③ 葉山③ 金勝⑤③ 葉山東②④ 大宝・大宝東④ 治田東③ 大宝西③	30
9月	6回	大宝・大宝東⑥ 治田④ 治田東⑤ 治田西③ 大宝西④ 葉山東⑤	27
10月	9回	金勝④ 葉山東③ 葉山③ 大宝・大宝東④ 治田③ 大宝西④④ 治田西③ 治田東⑤	33
11月	8回	大宝西④ 治田③ 大宝・大宝東⑥ 葉山② 金勝④ 葉山東③ 治田西④ 治田東⑤	31
12月	5回	大宝西③ 葉山東④ 治田④ 金勝⑤ 治田東③	19
1月	回		
2月	回		
3月	回		
合計	回		人

（エ）あいさつ運動

・各中学校区単位（3中学校区）で、少年補導委員と中学校PTA、教職員等と合同で、毎月実施した。

■実施状況

月	回数	実施学区・人数	従事者（延人数）
			補導委員
4月	6回	大宝西③ 治田①① 治田東④⑤ 金勝⑤	19
5月	10回	大宝西③ 治田①① 葉山・葉山東③④ 治田東④③①① 金勝⑥	27
6月	13回	大宝・大宝東⑥⑤ 大宝西③④ 治田西②① 治田東⑤⑤ 葉山・葉山東④④ 治田①① 金勝⑦	48
7月	10回	大宝・大宝東④ 大宝西③ 治田西① 葉山・葉山東⑤ 治田東④①⑤ 治田①① 金勝⑦	32
8月	0回		0
9月	13回	大宝・大宝東⑤⑤ 大宝西③③ 治田西①① 治田東⑤④ 葉山・葉山東④⑤ 治田①① 金勝⑦	45
10月	13回	大宝・大宝東⑤⑤ 大宝西④④ 治田東⑤⑤ 治田西②① 治田①① 葉山・葉山東③③ 金勝⑥	45
11月	13回	大宝・大宝東⑤⑥ 大宝西③③ 治田西①① 治田東⑤④ 葉山・葉山東③④ 治田①① 金勝⑤	42
12月	13回	葉山・葉山東③ 大宝・大宝東④④ 大宝西④④ 治田西①① 治田東④①④ 治田①① 金勝④	36
1月	回		
2月	回		
3月	回		
合計	回		人

② 学校からの要請による対象児童生徒への学校支援・通所指導等の実施

○学校からの支援要請に対して、管理職や生徒指導担当者との懇談を行い、学校の方針に則り個別の通所支援を行った。（中学生：校内暴力被害者保護の通所支援1名、通所支援に向けた就労相談1名）

③ 無職少年への就学や就労相談の実施

○対象少年（高校中退者・無職少年）の把握と通所支援

市教委学校教育課や小中学校、草津警察署生活安全課、関係機関・団体との連携を図り、非行や不良行為、暴力行為、引きこもり、いじめ等の情報収集と把握に努めている。また、市発達支援課や商工観光労政課、家庭児童相談室等と連携し、対象少年の把握に努めている。

特に、保護者や学校、関係機関からの依頼を受けて、非行や不良行為を犯した少年、非行傾向のある高校中退者等に対し、指導員を中心に解決に向けた支援や指導に取り組んでいる。

(3) 広域犯罪への警戒と防止啓発

ネット上の有害サイトを介した犯罪やいじめ、福祉犯罪、薬物乱用などの全国的な広がりを見せる犯罪行為に対して、関係機関との連携を図り、広報・啓発活動を通じてそれらの抑止に努めた。

① 薬物乱用防止やインターネット上の加害・被害防止に向けた啓発活動の実施

(ア) ネット犯罪被害防止

- ・青少年がインターネット上の有害情報から被害に巻き込まれないよう「少年センターだより」を通して広報啓発した。
- ・出前トークや各種研修会にて、SNSの正しい使い方等について、関係者や市民に啓発を行った。

(イ) 薬物乱用防止啓発活動

- ・麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動の強化月間に、市内3中学校において、生徒会と少年補導委員会啓発部会が合同で啓発物品配付と呼びかけを行い、薬物乱用防止啓発活動を実施した。
- ・薬物乱用防止啓発リーフレット等を配付し、市内小中学校、県立学校で啓発活動を実施した。

■中学校生徒会と少年補導委員との合同啓発活動実施状況

No.	活動日時	実施校	従事者
1	10月1日(火) 8:00~8:20	栗東中学校(700名)	各校 □少年センター3名 □少年補導委員7名 □中学生10~20名
2	10月2日(水) 8:00~8:20	葉山中学校(436名)	
3	10月17日(木) 8:00~8:20	栗東西中学校(886名)	



(ウ) 街頭啓発活動

例年、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間(6/20~7/19)と青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間(7/1~7/31)に少年補導委員・保護司・小中高等学校教員・警察等関係機関・団体と薬物乱用防止及び非行・被害防止に関して街頭啓発活動を行っており、今年度は7月1日に「社会を明るくする運動」とともに市内量販店前において啓発物品の配付と呼びかけを行った。また、市内中学校3校と県立学校3校において、麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動(10/1~11/30)に展示型啓発活動を実施した。

② 広報啓発(少年センターだよりの発行)

「少年センターだより」を年4回発行し、自治会(回覧)、関係機関等に配付し、少年非行や健全育成に関する情報、少年補導委員会の活動内容などの発信を行い、非行防止の啓発を行った。

■発行状況

発行月(季節号)	発行回数	月発行部数
4月・7月・10月・1月	4回	各 3,000部

(4) 関係機関や団体との連携と協働

複雑多様化する青少年問題に対しては、様々な生い立ちや性格をもつ青少年の特性を理解し、きめの細かい対応と配慮を行い、青少年が社会的に自立できるよう支援していくことが必要である。そのため、それぞれの機関の専門性を生かせるよう、各種関係機関や団体との連携強化に努めた。

① 少年補導(委)員会との協働と連携

○第12期少年補導委員の委嘱(令和6年4月1日~令和8年3月31日)

*40名の委嘱

○少年補導委員会の活動

■本部役員会及び幹事会・少年補導委員研修会

開催月	会議名	回数
4月	少年補導委員会幹事会 令和5年度会計監査	2
5月	第12期少年補導委員委嘱式 令和6年度栗東市少年補導委員会定例総会 少年補導委員研修会（補導委員の心得）	1
6月・8月・10月・12月・2月	少年補導委員会本部会・幹事会	5
10月	少年補導委員管外研修会（神戸市立若葉学園）	1
2月	少年補導委員研修会（草津警察署）	1

■研修会への参加

開催日・場所	研修会名	内 容
9月28日(土) 能登川 コミュニティセンター	滋賀県 青少年補導センター 連絡協議会研修大会	①講演会 「生きづらさを抱えた青少年の支援の方途について」 講師：大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 三谷はるよ 氏 ②分科会（話題提供：甲賀・湖南・高島・草津）

■非行防止・薬物乱用防止教室の実施 ※前述のとおり

■地域補導（学区別街頭補導）・あいさつ運動の実施 ※前述のとおり

② 学校や関係機関との連携

市教委学校教育課や関係機関が主催する会議、行事等に出席し、情報共有と協力体制の確立に努めている。また、新湖南地区高等学校等生徒指導連絡協議会の構成員として連絡会議に出席し、少年非行防止の連携に努めている。

■栗東市生徒指導主事主任会議への出席

開催月	開催主管課	出席者／内容
4月・5月・6月・7月 9月・10月・11月・12月 (1月)・2月・3月	市教委 学校教育課	学校教育課、市内小中学校、家見相、発達支援課、少年センター、草津警察署 / 各校の現状報告、課題の確認、指示・連絡事項等

■新湖南地区（草津・守山・野洲・栗東）高等学校等生徒指導連絡協議会の出席状況

開催月	開催機関	出席者／内容
6月・10月・1月	新湖南地区高等学校等生徒指導連絡協議会	県幼小中教育課、緊急特別指導員、県立学校各学校生徒指導主任、3少年センター / 各校の現状報告と情報交換、研修、連絡事項等

■就労支援関係会議出席の状況

開催月	会議名	出席者
-----	-----	-----

9月	草津・栗東地区無職少年対策連絡会議	草津警察署、保護司会草津支部、草津公共職業安定所、草津市・栗東市民児委員会、草津市・栗東市少年補導委員会、草津市・栗東市中等高等学校の各代表者 草津市・栗東市少年センター
第1回：11月 第2回：3月	栗東市就労支援事業推進会議	部落解放同盟、心身障害児（者）連合会、母子福祉のぞみ会、人権擁護課、ひだまりの家、社会福祉課、障がい福祉課、子育て支援課、学校教育課、自治振興課、発達支援課、少年センター

■要保護児童対策地域協議会実務者会議の出席状況

開催月	出席者・内容
4月・5月・6月 7月・8月・9月 10月・11月・12月 1月・2月・3月	中央子ども家庭相談センター、草津警察署、社会福祉協議会、県SSW、市SSW、学校教育課、幼児課、社会福祉課、障がい福祉課、発達支援課、健康増進課、少年センター、地域子育て包括支援センター（事務局）こども家庭局 こども家庭センター家庭児童相談室 要保護児童対象者の情報・関係機関情報交換などについて

《関係機関や団体との連携》 取り組みの成果と課題

【成果】

- ・開催される会合には積極的に参加し、関係機関等と連携できるよう、少年センターの活動を伝え、意見交換を交わすことができた。
- ・草津警察署生活安全課や近隣の少年センターとは、情報共有や連携した活動を心がけた。
- ・少年センターだよりには、少年センターの活動や非行防止関係情報を随時更新し、掲載できた。

【課題】

- ・今後も関係機関・団体とは連携をとって協働するとともに、必要な情報収集とそれを活かした活動に努める。
- ・子ども・若者育成推進事業に関わり、教育と福祉が一体となった支援のあり方を整備した中で、非行防止や健全育成の活動を見直したい。

③ 各種研修会等への参加による資質の向上

■会議出席の状況

関係機関・団体	会議名・開催日	出席者数
滋賀県青少年補導センター 連絡協議会	①県青少年補導センター連絡協議会総会・研修会（草津市）/4月10日 ②無職少年対策指導員研修会（能登川）/6月12日 ③県青少年補導センター連絡協議会研修大会（東近江市）/9月28日 ④湖南ブロック研修会（甲賀市）/11月22日 ⑤所長会議（5回） （彦根）6月5日/（守山野洲）8月7日/（甲賀）10月2日/（木之本）12月4日/（日野）2月5日	2 1 7 3 5
栗東市青少年育成市民会議	①青少年育成市民会議総会/5月11日 ②青少年育成市民会議幹事会/4月24日、6月10日、10月18日、12月4日 ③青少年育成市民会議幹事会啓発部会/ー ④青少年育成市民会愛のパトロール研修会/6月15日 ⑤中学生広場「私の思い出2024」/7月6日 ⑥青少年育成大会/1月25日	1 4 1 1 1
保護司会・更正保護女性会 民生委員児童委員協議会 連合会	①草津保護区保護司会栗東支部総会/4月9日 ②草津保護区保護司会と草津市立・栗東市少年センターの懇談会/8月2日 ③更生保護フォーラム/11月23日 ④歳末社会を明るくする運動合同研修会/12月6日	1 1 2 0

社会を明るくする運動推進委員会	①社会を明るくする運動メッセージ伝達式/7月2日 縮小実施 ②社会を明るくする運動街頭啓発(市内量販店)/7月1日	9
危機管理課防犯自治会	①草津栗東防犯自治会総会/7月20日 ②草津栗東防犯まちづくり自治会研修会/-	0
警 察	①「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会(大津市)/10月5日 (補導委員功労者表彰) ②歳末特別警戒警察・消防出動式/12月3日	1 2
栗東市内関係機関	①公立校園長会/4月3日 ②社会教育委員の会/7月25日、1月31日 ③青少年問題協議会・少年センター運営会議/- ④就労支援事業推進会議/11月26日、3月4日 ⑤障がい児・者自立支援協議会・発達支援部会/1月23日 ⑥要保護児童対策地域協議会代表者会議/7月24日、2月7日	1 2 0 2 1 2
滋賀県内関係機関	①県育成団体交流研修会/5月15日 ②立入調査員研修会/5月17日 ③非行防止・環境浄化対策連絡会議/7月2日 ④草津・栗東地区無職少年対策連絡会議/9月10日 ⑤南部・甲賀青少年育成連絡協議会/8月1日 ⑥南部地域安全なまちづくり推進協議会/8月28日 ⑦県青少年育成県民大会/11月9日 ⑧更生保護フォーラム/11月23日 ⑨少年センター・あすくる職員等合同研修会/4月17日、2月21日	1 1 2 2 1 1 2 2 4

自然観察の森

1 令和6年度 各種イベント実績

令和7年1月6日現在

	イベント 名称	計 画 内 容	対 象	実 施 計 画
		実 績		実 績
自 然 観 察 コ ー ス	自 然 観 察 会	四季折々のみどころをテーマに植生の解説をはじめ、この森に生きる小動物や昆虫の生態などの話題を交え、森のインタープリターや森で活動するボランティアが園内を案内します。	一 般	基本月2回、主に日曜日（5月3日以外）に実施（年間23回）
		生物の実物を用意したり、今しか観れない植物に触れてもらうなど、当日の参加者の状況に即した内容となるよう臨機応変な対応に努めました。おかげで植物や昆虫の生態について興味を深め、複数回参加される方もおられました。		12月までに18回実施 参加者は119人
	親 子 観 察 会	幼児から小学校の低学年向けに身近な生き物や園内に自生する植物の四季折々の見どころなどを案内し、観察する楽しさを体験していただきます。	親 子	基本月1回、日曜日に実施（年間16回）
		参加される子どもの年齢や当日の天候なども考慮し、小さいお子様には興味・関心をもっていただけるよう自然あそびやゲームを交えながら、自然とふれあい、観察する楽しさを体験していただきました。		12月までに12回実施 参加者は72人
	ミ ニ 観 察 会	主に初来園の人たちを中心に園内を案内し、解説します。	一 般 親 子	随 時
		事前に利用者から要望があった場合、職員が対応可能な範囲で園内を案内し、季節の見どころなどを紹介しました。		
	ミ ニ ク ラ フ ト	木の実など自然素材を使って、子どもから大人までが楽しめる四季折々のクラフトづくりを実施します。	一 般	1月と2月を除く毎月1回 日曜日に実施 （年間10回）
		家族連れでの参加が中心で、自然素材を活用したクラフトの体験で11月・12月の「Xmasグッズ」、「お正月飾り」では多くの参加をいただきました。		12月までに9回実施 参加者は300人

自 コ 然 ！ だ す い す き	月別 イベント (予約制)	自然とふれあい、自然の恵みを活かして のものづくりの楽しさ等の体験を通じ、 森で活動するボランティアとともに親睦 や交流を深める機会を提供します。	一 般	年間 4 回（7・8・10・11 月） 主に土曜日に実施
		工夫を凝らした自然観察会や竹細工、クリ スマスリース等のもので、ものづくりの楽しさを体験 し、自然の大切さに触れていただきました。		森の秋まつり以外に 3 回実施 参加者は 39 人
JVR 養成講座 (登録制)		自然体験をととして、自然と人との関わり 方について考える環境リーダーを養成し ます。受講生相互に仲間意識を醸成させ るとともに、支援いただくボランティアの協 力のもと世代間の交流の場となる機会を 提供します。	小学 3 年生～ 中学 3 年生	4・5・11・1 月を除く毎月 1 回、土曜日に実施 (年間 8 回)
		JVR 養成講座生 23 人が森をフィールド に自然と人との関わり方を学習する中で仲 間意識を高め、集団でのルールや役割など を学びました。また、サポートが主催する イベント活動を通して世代間交流を深める ことができました。		12 月までに 6 回実施
森の秋まつり		自然の恵みに感謝し、森の魅力を P R する 恒例イベントとして、関係ボランティア団 体との連携協力により開催します。	一 般	10 月 13 日(日)
		ネイチャー・ボランティア・レンジャー「N V R 友の会」の協力を得て、森の P R に努め ました。あそびコーナー、自然観察会、ミニ クラフト、木の実の試食などを予定通り実施 し、森の魅力を発信することができました。		来園者は 181 人

2 施設等の安全対策など

施設及び園内の安全、利便性を確保するとともに良好な環境整備を実施します。

- (1) 8 月以外の時期においても猛暑が頻発するようになり、観察会イベントや園外保育・校外学習等の野外活動と熱中症対策の両立が課題となったことから、熱中症リスクを軽減するため、来園者への事前の注意喚起に努めてきました。
- (2) ネイチャーセンターにおける設備機器の日常点検を実施しました。
- (3) 園内観察路等の巡回による危険箇所の把握と修繕を実施するとともに、注意喚起することで安全確保に努めました。
- (4) 松枯れ被害木や風倒木等の伐倒処理及び松枯れ防除を実施しました。
- (5) ボランティアにも協力を得ながら適切な植生管理と再生保育に努めました。
- (6) 駐車場区画線及びネイチャーセンター屋根（雨漏り）を修繕するなど施設の適切な維持管理に努めました。

(7) 来園者を気持ち良く迎え、お帰りいただくための施設や散策路の清掃に努めました。

3 園・学校との連携及び諸団体への支援・協力

- (1) 幼児園、幼稚園、保育園における園外保育や小学校の校外学習、中学校の勤労体験、各種団体の研修に供する利用に際しては、受入態勢を整えて支援と協力を行いました。
- (2) 本市の教育ゾーンにある当園、図書館、歴史民俗博物館が10月にそれぞれ実施するイベント（テーマ「3施設秋めぐり」）のPR活動を連携し行いました。

4 森のPR活動

みどころマップ等の設置・配布	園内の案内を兼ねて毎月「みどころマップ・案内図」や「ネイチャークイズ」等を配置、配布しています。また、施設のリーフレットも配布しています。更に「今が見ごろ」にスポットをあてた植物写真を園内に掲示しています。
りすじろう通信の発行	園、学校の来園に際しては、体験学習の様子を「りすじろう通信」として発行し、そのなかで再来園につなげる呼びかけをしています。
広報りっとう	毎月の広報紙面の「お知らせ版」で森のイベントを紹介しています。
インターネット等	・市のホームページに、 ア) 開園カレンダー・イベント案内を掲載しています。 イ) 四季折々に森でみられる植物や動物を、撮影日も入れて写真で紹介しています。 ウ) 森で実施したイベント活動の状況や参加者の声も「りすじろう通信」が紹介しています。 ・フェイスブックに、タイムリーな情報を提供しています。 ・スマートフォン専用アプリQRコードを活用した自然動画を紹介しています。
公共施設等での掲示	JR 手原駅の案内所、JR 栗東駅自由通路の東西掲示板、各小学校、図書館、歴史民俗博物館、学習支援センター、自然体験学習センター「森の未来館」及び各コミセンなどに毎月のポスターを掲示しています。
県や情報機関	イベント情報の資料を提供しています。
展示の充実	館内展示エリアに毎月のクラフトの試作品や森で活動する児童や大人の作品の展示による啓発に努めています。また、森に関心を持ってもらうために、生きものの痕跡を掲示しています。

5 再来園者を促す取組み

- (1) ネイチャーポイントカードを発行し、以後来園毎にポイントを付与、上限ポイントに達した時点で手作り記念品を贈呈しています。
- (2) 毎月1回を基本に小学校低学年向けにネイチャークイズを作成し随時解説するとともに、小学校の校外学習でも活用しています。
- (3) 園・学校等からの来園者に家族で再来園いただけるよう案内しています。

令和6年度 イベント実施実績

令和7年1月6日現在(単位:人)

	自然観察コース(予約不要)		自然だいきコース	年間登録制講座	予約不要	
月	自然観察会	親子観察会	月別イベント	JVR養成講座 (受講生のみ)	ミニクラフト	計
	年間23回	年間16回	年間4回	年間8回	年間10回	
令和6年	春の森				木の実でブローチ等をつくろう	
4	10 晴・晴(2回/2回)	5 雨(1回/1回)			18 晴(1回/1回)	33 (4回/4回)
	新緑の森				かわいいカエルの合唱隊	
5	14 晴・曇・晴(3回/3回)	22 雨(1回/1回)			31 曇(1回/1回)	67 (5回/5回)
	梅雨の森			開講式・保水実験	竹でデンデン太鼓づくり	
6	31 雨・雨(2回/2回)	15 晴(1回/1回)		15 晴(1回/1回)	14 雨(1回/1回)	75 (5回/5回)
	夏の森		森の豆本とお話作り	遊び道具を作ろう	マツぼっくり&木の実でライオン	
7	3 晴・晴(2回/2回)	11 雨・晴(2回/2回)	8 晴(1回/1回)	18 晴(1回/1回)	14 雨(1回/1回)	54 (7回/7回)
	盛夏の森		竹トンボと竹コースターを作ってみよう!	草木で染める	竹の水鉄砲作りにちようせん	
8	11 晴・晴(2回/2回)	5 晴(1回/1回)	13 晴(1回/1回)	15 晴(1回/1回)	16 晴(1回/1回)	60 (6回/6回)
	初秋の森			班別対抗戦	秋のお月見ウサギさん	
9	3 晴・雨(2回/2回)	5 晴(1回/1回)		12 晴(1回/1回)	19 晴(1回/1回)	39 (5回/5回)
	秋の森		森の秋まつり	フォレストホームングをつくろう	森のミニSL・デンデン太鼓・松ぼっくりのライオン	
10	38 晴・晴(2回/2回)	2 晴・晴(2回/2回)	181 晴(1回/1回)	6 曇(1回/1回)	135 晴(1回/1回)	362 (7回/7回)
	紅葉の森		クリスマス飾りをつくりました		クリスマスグッズ・三角ツリー・をづくりましょ	
11	5 晴・晴(2回/2回)	3 曇(1回/1回)	18 晴(1回/1回)		35 晴(1回/1回)	61 (5回/5回)
	冬の森			秋の森でアート	お正月飾りをつくろう	
12	4 曇(1回/1回)	4 晴・雨(2回/2回)		12 雨(1回/1回)	18 曇(1回/1回)	38 (5回/5回)
令和7年	真冬の森					
1	(回/1回)	(回/2回)				0 (回/3回)
	目覚の森			きのこの植菌		
2	(回/2回)	(回/1回)		(回/1回)		0 (回/4回)
	早春の森			閉講式・記念植樹	トコトコ・キツツキくん	
3	(回/2回)	(回/1回)		(回/1回)	(回/1回)	0 (回/5回)
合計	119 (18回実施)	72 (12回実施)	(4回実施)	(6回実施)	(9回実施)	(49回実施)
	191		220	78	300	789

参考: 令和5年度12月末の人数 129 258 179 252 818

人権擁護課

人権教育・啓発係

1. 顔の見えるつながりを結ぶ地区別懇談会

(内 容)

○あらゆる差別問題の解決と地域における人権意識の高揚を図るための地区別懇談会の実施

- ・地区別懇談会説明会の実施（１０回）
- ・市内１２６自治会での地区別懇談会の実施

（９４自治会が実施（書面開催含む） ※１月６日現在）

(成果・課題)

○昨年度から合計５つのコース設定を行い、地域が実情に応じて主体的に「学びを選ぶ」地区別懇談会の推進に取り組んでいただいている。来年度は人権擁護課サポートのもと、地域の人権リーダーとして社会人権教育推進員が中心となり、名称も「自治会じんけんミーティング」に変えて実施するスタートの年となる。人権尊重のまちづくりにむけて、主体的な取り組みとなるよう進めていきたい。

2. 人権啓発リーダー講座

(内 容)

○地域や学校園で主体的に人権啓発を行うリーダーの育成（１２回）

- ・はじめの一步コース （２回） ７月 ２日、７月 ９日 計 ７５名
- ・明日へ一步コース （４回） ８月 １日、８月 ７日、８月 ２０日、８月 ２３日

計 ２５６名

- ・地区別懇談会説明会および （４回） 地区別懇談会説明会開催日
地区別懇談会研修コース ７月 １１日、７月 ２２日、９月中旬（動画配信） 計 １２４名

- ・インターネットと人権コース （１回） ７月 １２日 計 １７名

- ・特別コース【じんけんセミナー栗東と共催】（１回） ７月 １９日 計 ２４８名

合計 ６９９名（前年比 ３３名増）

(成果・課題)

○今年度初の試みとして栗東市のホームページに地区別懇談会開催に向けた動画をアップした。８７名の視聴があり、一定の効果があつたと捉えている。

○インターネットによる人権問題やジェンダー平等の視点に立った課題、マイクロ・アグレッションなど、新たに取り組むべき内容についてバージョンアップして設定していく必要がある。

○人権啓発リーダー講座への参加を地区別懇談会に位置付けた自治会もあつたが、社会人権教育推進員

以外の参加が少なかった。今後も積極的な参加案内、開催内容・時間帯の検討等で受講を促進する必要がある。

3. 栗東市人権・同和教育推進協議会

(内 容)

○差別のない、心の通いあった、住みよいまちづくりの実現にむけた活動

・ 広 報 部 会 … 人権意識の高揚と定着に関わる広報活動の推進

※第1回：6月18日、第2回：7月12日、第3回：12月9日、
第4回：1月29日

広報紙「みんなの同推協」の発行（9月・3月）

・ 啓 発 部 会 … 人権啓発作品募集・審査や市民への人権啓発活動の推進

※第1回：7月10日、第2回：9月6日、第3回：10月10日、
第4回：1月10日

人権啓発作品募集（11～12月）、審査（1月）、作品集の発行（3月）

大宝西ふれあい解放文化祭、じんけん広場ふれあい文化祭での啓発活動

・ 研 修 部 会 … 「人権を考える市民のつどい」の企画運営

※第1回：8月28日、第2回：2月開催予定

「人権を考える市民のつどい」（3月1日）

・ 市 民 活 動 部 会 … 栗東市人権教育地域ネット事業へ参画し、学校・園・家庭・地域の連携の推進

※第1回：7月5日、第2回：8月20日、第3回：2～3月開催予定

(成果・課題)

○広報紙「みんなの同推協 No. 75」について、昨年からクイズコーナーを設け、読者からの解答をネットからも受け付けたところ、39名（昨年17名）の応募があり好評であった。より良い紙面構成となるように、部会員が主体的に意見を出し合うことができた。

○文化祭などのイベント等において、啓発資料を手渡しで配布したり、昨年見ていただく人の少なかった読み語りをスタンプラリーに変えるなどの工夫をしたりして、効果的な啓発内容を考えることができた。

○会員相互のつながりを深め、地域での啓発に繋げることができた。今後、次代を担う人材とのつながりを広げつつ、地域啓発の中心的な存在として活動していきたい。

4. 栗東市人権教育地域ネット協議会および学区運営委員会

(内 容)

○人権が尊重された学校・園・地域の実現を目指し、それぞれが連携した人権教育の推進

・中学校区別全体協議会

栗東中学校区 2回（7月は書面決議・2月開催予定）

葉山中学校区 2回（6月27日・2月7日）

栗東西中学校区 2回（6月25日・3月7日）

・中学校区合同研修会

栗東中学校区 1回（11月 7日） 講師：近藤 寛子さん

講師インフルエンザのため後日オンライン配信

葉山中学校区 1回（10月31日） 講師：北出 新司さん

栗東西中学校区 1回（10月11日） 講師：坂田 かおりさん

・小学校区別運営委員会事業 10月から12月 小学校区ごとに人権研修会を実施

（成果・課題）

○中学校区や小学校区単位で、学区ごとに応じたテーマを設定しながら取り組みを進めることができた。各研修会において、学校・園・家庭・地域・行政の連携のもとで啓発に取り組むことが必要であるが、地域や保護者の参加が少ない状況はあまり改善していない。研修内容等を工夫することで、ともに人権尊重に向けてのつながりを作っていきたい。

5. 栗東市人権教育研究大会

（内 容）

○栗東市民および栗東市に勤務する者の人権意識の高揚と、各校園所における取り組みについての交流の推進

・市人教運営委員会 5月17日（金）・6月7日（金）・6月14日（金）

8月3日の大会開催に向けて運営委員会、拡大大会運営委員会を実施した。

・レポート研修会 5月28日（火）

実践レポートの充実を図るため、滋人教事務局より講師を招聘して思いを伝えていただき、昨年度全国大会にレポート報告された先生から実践報告をいただいた。

・市人教大会分科会担当者事前打ち合わせ会 7月23日（火）

実践レポートをもとに、報告者・協力者・司会者で分科会の討議の柱や進め方について協議した。

・栗東市人権教育研究大会 8月3日（土）13：00～16：15

全体会（映像配信）および分科会

・会場 市内3小中学校（栗東中学校、葉山小学校、大宝西小学校）において分散して開催

分科会参加団体 19団体（園3 小・中12 高1 行政1 地域・PTA1 企業1）

参加者 計464名（前年比38人減）

教職員415名 保護者6名 地域等8名 事業所4名 行政31名

(成果・課題)

- 全体会では「人権が守られる社会の課題と展望について～好感・共感・親近感が人権力を育む～」と題して講演をいただき、今後の人権問題への取り組みに大きな示唆をいただいた。分科会では各校園・団体よりそれぞれの実践について報告を受け、それをもとに分科会討議を深めることができた。
- 分科会を1つ減らしたこともあってか、参加者は若干の減少が見られた。また、保護者、事業所、地域、からの参加者は、依然として少ない。広報の工夫、大会の意義を周知することなどにより、参加者を増やし、各所における人権教育の取り組みを広めていきたい。
- オンラインで全体会を開催したが、今年度も画像が乱れたり、音声聞き取りにくかったりといったことが起こったので、今後もオンライン形式で実施するのであれば、事前の準備や予行は早めにして万全の態勢で臨みたい。

6. 小柿地域教育推進事業

(内 容)

- 地域住民との親睦を図り、交流を深める事業（じんけん広場ふれあい文化祭）と差別事象の根絶を目指した研修の推進

- ・ じんけん広場ふれあい文化祭（11月9日・10日） （9日参加者：80名）
（10日参加者：900名）

9日 講演会 講師：三木 幸美さん（とよなか国際交流協会）

「誰もが『自分』を生きる力を

～人権が尊重される多様性社会をめざして～」

10日 開会行事、各団体からの発表、模擬店、もちつき、人権啓発作品の展示等

- ・ 合同研修会：1月25日開催予定

講 師：平田 敦之さん

(成果と課題)

- 前夜祭で講師を招き講演会を開催し、マイノリティの立場に立った考え方の大切さを学んだ。2日目は模擬店を含め、各団体の発表や人権啓発作品の展示を通して広く「人権」について学び、感じ合った。参加者も多く、人権のイベントとして賑わいのある活動ができた。また、今年度は地振協との同時開催となり、より地域に密着した取り組みになったと考える。次年度は、より地域が主体となって無理なく運営できる文化祭として、開催方法・内容を工夫していくことが必要である。

スポーツ・文化振興課

文化財保護係

◎ 文化財保護事業

◆ 文化財審議会

- 第1回 11月6日(水)
- 第2回 3月に開催予定

◆ 文化財保護啓発事業

- 国指定名勝大角氏庭園(市所有地)修景整備事業
- 第71回文化財防火デーに伴う消防訓練 1月26日(日) 萬年寺周辺
- 第71回文化財防火デーに伴う防火査察 1月20～22日 大野神社ほか12件(予定)

◆ 文化財補助事業

- 国・県・市指定文化財管理事業
防災設備保守点検・庭園荒廃防止・史跡除草等 金勝寺ほか17件
- 県選択無形民俗文化財団体体育成事業 小杖祭り保存会ほか1件

◇成果 文化財所有者・管理者と連携しながら文化財の保存・管理をすすめることができた。

◇課題 今後も多発・激甚化傾向にある自然災害による文化財への影響への対応が必要。

◆ 史跡旧和中散本舗・名勝大角氏庭園保存活用計画策定事業

(内容)・史跡旧和中散本舗・名勝大角氏庭園の測量、実測および委員会の開催

- 第1回策定委員会 8月21日(水)
- 第2回策定委員会 3月7日(金)(予定)

◆ 文化財活用事業

- 栗東の文化財を活用しようVI 講演会
『歴史文化を活かしたまちづくり』 3月9日(日)(予定)
連続講座栗太郡衙岡遺跡プレ企画 講座『栗太の古代豪族と渡来人』3月20日(祝)(予定)
- 地山古墳草刈りプロジェクト 2月9日(予定)(共催:岡自治会)

◎ 埋蔵文化財調査事業

◆ 文化財調査事業(12月末現在)

- 埋蔵文化財試掘調査 34件 埋蔵文化財発掘調査 15件

◇成果 各種開発等にもない発掘調査等を実施することにより、埋蔵文化財の保存・保護を図ることができた。

◇課題 栗東市においては、今後も各種開発が進むと予測されることから、調査体制の整備等、それに対する対応が必要。

◆ 保存目的調査

- 阿弥陀寺宮城家墓所(豊臣秀吉家臣宮城豊盛墓を中心とした調査、委員会開催)
- 岡遺跡(昭和61年度に発見された岡遺跡発掘調査の再整理、委員会開催)

◎ 出土文化財センター管理運営事業

◆ 普及啓発事業

- 教室・講座事業
子ども考古学体験クラブ ～勾玉づくりと火起こし～

8月23日（金）～25日（日）（参加者 76 人）

初夏のセンター公開 2024 5月25日（土）26日（日）6月15日（土）16日（日）（参加者 62 人）

秋のセンター公開 2024 11月5日（火）～10日（日）（参加者 80 人）

教室事業（治田東小、治田小、治田西小、葉山小）4校

◆ 調査整理事業

○出土資料整理調査（国庫補助金関係発掘調査資料の整理）

※当施設では、（公財）栗東市スポーツ協会との共催又は支援を受けて事業を展開している。

◇成果 出土文化財を適正に保存・管理することができた。

◇課題 今後も、関係機関との連携をより一層深め、さまざまな機会を捉えて普及啓発をすすめていく必要がある。

スポーツ・文化振興係

◎ 文化振興事業

◆ 文化祭事業

○美術展 6月14～16日（来場者 233 人）○囲碁将棋大会 10月20日（来場者 42 人）

○呈茶席 11月9～10日（来場者 324 人）○芸能まつり 11月10日（来場者 413 人）

○いけばな 文芸作品展 11月9～10日（来場者 531 人）

会場 栗東芸術文化会館さくら（栗東市文化協会に委託）

◆ 美術展事業

○第48回栗東市美術展 10月30日～11月3日

総出品数5部門193点、（来場者 817 人）

会場 栗東芸術文化会館さくら（栗東市美術展実行委員会に委託）

◆ 文化協会補助事業

○文化団体への交付金交付

文芸部門、囲碁将棋部門、美術部門、謡曲部門、舞踊部門、民謡部門、吟道部門、郷土芸能部門、花道部門、茶道部門、雅楽部門、洋楽部門、芸能部門

（13部門、33団体）

◇成果 会員・関連団体と連携を図り、活動を通じて市民の文化に対する意識の向上に貢献し文化活動の振興を図ることができた。

◇課題 関連団体・機関の構成員の高齢化と会員確保。

◎ 音楽振興会活動・研修補助事業

◆ 音楽祭開催事業

○第50回栗東市音楽祭「音楽の森コンサート」10月6日（日）（来場者 313 人）

会場 栗東芸術文化会館さくら（栗東音楽振興会に委託）

◆ 音楽振興会活動・研修補助事業

○ORISS ミュージアムロビーコンサート 会場 栗東歴史民俗博物館

6月2日（日）48回 ～日本の伝統・世界へ届け高校生～

（参加者 285 人）

11月4日（祝）49回 ～連弾で発見するピアノの魅力～

（参加者 81 人）

2月22日(土) 50回 ～光栄ファミリー・名曲コンサート～(予定)
ORISS ミュージックフェア 7月21日(日) 会場 栗東芸術文化会館さくら
(来場者 104 名)

○ピアノはともだち 7月21日(日) 会場 栗東芸術文化会館さくら(来場者 91 名)

○松田昌アレンジ講座&ライブ ①講座 3月8日(土) ②ライブ 3月9日(日)(予定)
会場 栗東芸術文化会館さくら

○巡回コンサート(年間を通じて)

○広報「RISS」発行(年度末に予定)

○トーンチャイム・ミュージックベル研究会(年間を通じて)

○オカリナ研究会(年間を通じて)

◆ 少年少女合唱団活動補助事業

○第 69 回滋賀県合唱祭 会場 栗東芸術文化会館さくら 6月9日(日)

○滋賀県少年少女合唱連盟中学生以上研修会 会場 わたむきホール 10月15日(日)

○第 33 回滋賀県少年少女合唱祭 会場 びわ湖ホール大ホール 11月4日(月・祝)

◇成果 合唱活動を通じて栗東市の児童生徒の健全育成に努め、関連団体・機関と連携し、音楽振興を図ることができた。

◇課題 より一層の市民の参加を図るため、広報活動の充実が必要。

◎ 芸術文化会館施設管理運営事業

◆ 芸術文化会館管理運営事業

○栗東芸術文化会館「さくら」を(株)ケイミックスパブリックビジネスが指定管理者として管理運営。令和3年4月1日～令和8年3月31日

○施設・設備の維持補修工事

・大ホール舞台機構改修工事他

◇成果 指定管理者のもと、施設の管理運営と施設を利用した活動を適正に実施できた。

◇課題 施設・設備の老朽化にともなう計画的な修繕・更新の実施。

◎ スポーツ振興事業

◆ ロード競技三大会事業

○くりちゃんファミリーマラソン 2024 11月23日(土・祝)(参加者 343 人)

○第 68 回耐寒アベック登山大会 1月19日(日)(参加予定者 348 人)

○第 51 回びわこ栗東駅伝～クロカン in 野洲川～ 2月16日(日)(予定)

(栗東市ロード競技三大会実行委員会に委託)

◆ 市民スポーツ大会開催事業

○市民テニス大会他全 20 競技(種目)の大会を開催

((公財)栗東市スポーツ協会に委託)

◆ 学校体育施設開放事業

○市民が身近な場所で気軽にスポーツができる場として、市内小・中学校の体育館、グラウンド、柔剣道場などを開放。少年団体等 83 団体が登録。

◇成果 関連団体・機関と連携しながら生涯スポーツの振興を図ることができた。

◇課題 さらなる市民の参加を図るため広報活動の充実や、誰もが安心安全に利用ができるよう

スポーツ施設の改修・整備が必要。

◎ 生涯スポーツ振興事業

◆ 生涯スポーツ振興事業

○地域への生涯スポーツの普及推進および指導・育成に関する事業の実施

- ・実技研修（ボッチャ、ゴールボール、スポーツチャンバラ等）
- ・みんなのスポーツ講習会（全 8 学区で開催）
- ・栗東市スポーツ推進委員だより「あぶろうち」第 63 号発行

（栗東市スポーツ推進委員協議会に委託）

◇成果 年齢や体力に関係なく誰もが楽しめるニュースポーツを普及した。

◇課題 より一層の市民の参加を図るため、地振協等との連携と広報活動の充実。

◎ 社会体育施設管理事業

◆ 社会体育施設管理運営事業

○栗東市社会体育施設等について、公益財団法人栗東市スポーツ協会が指定管理者として管理運営。 令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

○各施設・設備の維持補修工事

◆ 社会体育施設整備事業

○野洲川体育館・治田西スポーツセンター照明 L E D 更新工事の実施

○野洲川運動公園洋式トイレの設置

◇成果 指定管理者のもと、施設の管理運営と施設を利用した活動を適正に実施できた。

◇課題 施設・設備の老朽化に伴う計画的な修繕・更新の実施。

栗東歴史民俗博物館

1. 展覧会開催事業（通史展示の充実、特集展示等の開催）

【 内 容 】

地域に関わる資料を収集・保存・調査・研究し、通史展示「栗東の歴史と民俗」の充実化を図ります。また、大字単位で地域の歴史と文化を探究する“小地域展”では、治田地区から目川地域を取り上げ、地域資料の再発掘に取り組みます

また、公益財団法人栗東市スポーツ協会との協力により発掘調査成果展を開催し、近年の発掘調査の成果について広く公開します。また、栗東町制施行から 70 年の節目の年に当たることから、改めてまちの成り立ちや歩みについて紹介する展覧会を開催します。併せて、これらの展覧会の関連事業を企画する等、博物館事業の充実を図ります。

【 成 果 】

平成から令和へと時代が移り変わるおおよそ 10 年間の発掘調査の成果を紹介する展覧会「埋蔵文化財発掘調査成果展－平成から令和へ－」を開催しました。特にコロナウイルス感染症の流行期には現地説明会が開催されなかった遺跡については、初めてその成果を市民に示すことができる機会となりました。また栗東町制施行 70 周年記念展「栗東のかたち－明治と昭和の大合併－」では現在の栗東市の形が概ね決まった昭和 29 年（1954）から今年で 70 年が経過することを記念し、明治から昭和にかけての村の合併の経緯と栗東の発展の歴史を紹介しました。また開館以来継続している「平和のいしずえ」展も開催し、市民から提供された戦争に関する資料を活用し、戦争と平和について考えていただく機会を今年も設けました。現在は、収蔵品のなかから主に栗太郡にゆかりの作家による山水画の優品を紹介する収蔵品展「山水画の世界－岡笠山と横井金谷－」を開催中です。

また、展覧会に関連して講座やシンポジウムを開催しました。ほかに旧中島家住宅を活用した博物館講座「かまどめしを炊こう！！」の定期開催を再開し、博物館事業の充実を図りました。

展覧会の開催

展覧会名	会期	入場者数	備考
小地域展「岡の歴史と文化」	3/9～5/12	779 人	入館者のうち 4/1 以降分は 450 人
「埋蔵文化財発掘調査成果展－平成から令和へ－」	5/25～7/21	1,549 人	
特集展示「平和のいしずえ 2024－戦争の時代と子どもたち－」	8/3～9/1	856 人	
栗東町制施行 70 周年記念展「栗東のかたち－明治と昭和の大合併－」	9/14～11/4	1,714 人	
収蔵品展「山水画の世界－岡笠山と横井金谷－」	11/30～2/24	471 人	
小地域展「目川の歴史と文化」	3/8～5 月上旬		以下、予定

（1 月 6 日現在）

主な関連行事の開催

関連行事名	日時	人数	備考
講座「三足壺の発見！－近江の渡来人－」	6/1	47 人	「埋蔵文化財発掘調査成果展-平成から令和へ-」関連行事
シンポジウム「蜂屋廃寺と法隆寺」	6/29	88 人	「埋蔵文化財発掘調査成果展-平成から令和へ-」関連行事
歴史文化財講座「栗太郡の歴史と文化－街道文化を中心に－」	10/26	44 人	栗東町制施行 70 周年記念展「栗東のかたち－明治と昭和の大合併－」関連行事

(1月6日現在)

その他

博物館講座「かまどめしを炊こう！！」をコロナウイルス感染症の流行後、定期開催（厳寒期、酷暑期を除く）を再開し、4月20日、5月25日、6月15日、10月19日、11月16日に開催しました。

【課 題】

長年の懸案であった、美術工芸品を専門とする学芸員について、令和7年4月1日採用の職員採用試験を行って内定を出しており、このことについての課題は解決に向かっていきます。今後、新たな人材にこれまでの活動の成果をどのように引き継いでいくのが課題となると考えています。現在在籍している職員も高齢になっていることから、美術工芸品の学芸員のように職員の退職後長年空席となることがないように、今後も途切れることなく職員採用を行えるように努めます。

2. 市民参画推進事業（市民学芸員支援事業等）

【内 容】

歴史民俗博物館への市民参画を推進する取り組みとして、市民学芸員の会の活動を支援します。市民学芸員の会で継続して取り組まれている史料の輪読会の開催について支援します。

また、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への出前講座等の機会を活用し、栗東の歴史や文化について普及啓発するとともに歴史民俗博物館の活動をより広く発信することで、重点目標にも掲げる「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館」づくりを進めます。

【成 果】

市民学芸員の会では引き続き歴史資料を読む輪読会を開催されており、歴史民俗博物館でもこの活動を支援しています。市の広報誌を活用して輪読会への参加を呼び掛けたこともあり、新規に参加される会員があり、継続的な活動に寄与することができました。

自治会やコミュニティセンターが主催される事業への出前講座では依頼のあった団体へ職員を講師として派遣し、市民へ栗東の歴史や文化を伝えるとともに、歴史民俗博物館の活動を広く発信し、重点目標に掲げる「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館」づくりを進めることができました。

講座等への講師派遣などの支援

講座名等	主催者	日程	テーマ、備考
NPO 法人街道をいかしたまちづくりの会研修会「栗東市及び周辺の旧街道と古道の役割」 講師	NPO 法人街道をいかしたまちづくりの会	5/8	穴村道～東海道と中山道をつなぐ“バイパス～”
葉山東小学校 6 年生社会科授業 講師	栗東市立葉山東小学校	5/30	奈良時代の栗東
同志社大学「博物館資料論」 ゲストスピーカー	同志社大学	6/14	地方公立博物館と博物館資料
栗東市平和学習 展示解説	栗東市教育委員会生涯学習課	8/3	
栗東市平和学習 講師	栗東市教育委員会生涯学習課	8/10	子どもたちの戦争
はつらつ教養大学 講師（コミュニティセンター治田東）	栗東市教育委員会生涯学習課	9/27	栗東の歴史と文化～治田東学区～安養寺村絵図の世界
栗東市まちづくり出前トーク 講師	栗東ふぁざーず倶楽部	9/28	仏像について
栗東市まちづくり出前トーク 講師	老人福祉センター ゆうあいの家	10/15	学ぼう！栗東の歴史と文化（葉山編）
栗東市まちづくり出前トーク 講師	老人福祉センター ゆうあいの家	10/16	学ぼう！栗東の歴史と文化（金勝編）
栗東市まちづくり出前トーク 講師	老人福祉センター ゆうあいの家	10/17	学ぼう！栗東の歴史と文化（治田編）
栗東市まちづくり出前トーク 講師	老人福祉センター ゆうあいの家	10/18	学ぼう！栗東の歴史と文化（大宝編）
平葉自治会防災訓練 講師	平葉自治会	10/27	かまどを使った炊飯
上砥山三和サロン 講師	上砥山三和サロン	11/9	栗東のまつり
第 2 回市民記者ミツケター養成講座 講師	栗東市広報課	11/23	歩いて辿る史跡と立場～目川立場の歴史～
第 2 のふるさとづくりプロジェクト「住まいの記憶史調査体験」 アドバイザー	NPO 法人くらすむ滋賀	11/24	
金勝歴史講座 講師	コミュニティセンター 金勝	11/26	由緒ある金勝の歴史、金勝の生い立ち

【 課 題 】

コロナウイルス感染症の終息以来、講座への講師派遣の依頼が増加傾向にあります。こうした要望に十分応えていくためにも、十分な職員配置が必要です。

3. 博学連携事業（博物館教室「昔の暮らし」の開催等）

【 内 容 】

小学校 3 年生の社会科の単元「市の様子の変り変わり」に対応した体験学習プログラム・博物館教室「昔の暮らし」を実施します。この事業は、歴史民俗博物館敷地内の移築民家旧中島家住宅（国の登録有形文化財）を会場に、児童が暮らしに関わる民俗資料（民具）を実際に用いて昔の暮らしを体

感することで、昔と今のくらしの違いを知るとともに、昔のくらしが今のくらしにつながっていること、さらには未来の自分たちのくらしにもつながっていることへの気づきの機会とすることを目指すもので、市立小学校9校を中心に実施し、希望される市外の小学校も対象として実施します。また、市立中学校のチャレンジウィーク事業（勤労体験学習）を受け入れます。その他、滋賀県内及び近郊の大学（短期大学を含む）に在籍する者を対象として、学芸員資格取得のための博物館実習生の受け入れを行います。

【 成 果 】

博物館教室「昔のくらし」は順次受け入れを進めています。今年度は予定も含めてすべての市立小学校が受講することになり、大きな成果と考えています。中学校のチャレンジウィーク事業（勤労体験学習）はすべての市立中学校から生徒を受け入れました。また、博物館実習についてはすでに受け入れました。

令和6年度の実施状況は予定も含めて次のとおりです。

博物館教室「昔のくらし」の受け入れ

日程	学校名	人数	備考
9月26日	竜王町立竜王小学校	55人	
10月1日	守山市立小津小学校	65人	
10月24日	近江八幡市立島小学校	17人	
11月1日	栗東市立大宝東小学校	58人	
11月12日	栗東市立金勝小学校	61人	
11月14日	湖南市立三雲東小学校	50人	
11月19日	野洲市立祇王小学校	75人	
11月20日	草津市立南笠東小学校	45人	
11月21日	大津市立中央小学校	72人	
11月21日	野洲市立三上小学校	34人	
11月28日	愛荘町立愛知川小学校	75人	
1月16日	野洲市立篠原小学校	31人	以下、予定
1月16日	栗東市立大宝西小学校	60人	
1月17日	湖南市立水戸小学校	45人	
1月17日	栗東市立葉山小学校	48人	
1月21日	湖南市立岩根小学校	40人	
1月21日	草津市立矢倉小学校	88人	
1月22日	栗東市立治田東小学校	66人	
1月23日	栗東市立大宝小学校	90人	
1月28日	滋賀県立聾話学校小学部	1人	
2月14日	栗東市立治田小学校	73人	
2月18日	栗東市立治田小学校	73人	

2月18日	栗東市立治田西小学校	90人	
2月19日	栗東市立葉山東小学校	83人	

(1月6日現在)

中学校のチャレンジウィーク事業（勤労体験学習）の受け入れ

滋賀県内の中学校で取り組まれているチャレンジウィーク（勤労体験学習）について、依頼のありました中学校について、下記のとおり受け入れました。

学校名	期間	人数
栗東市立栗東西中学校	6月5日～6月7日	2名受入
栗東市立葉山中学校	10月23日～10月25日	2名受入
栗東市立栗東中学校	10月29日～10月31日	2名受入

博物館実習の受け入れ

博物館学芸員資格取得のために必要な単位「博物館実習」のなかで、博物館などの施設において、実際の業務を行う館園実習。令和6年度は8大学10名を受け入れました。

日 程： 8月27日～9月1日

大学名・人数：京都橘大学 1名、京都文教大学 1名、京都府立大学 1名、同志社大学 2名、佛教大学 1名、滋賀県立大学 2名、奈良女子大学 1名

【 課 題 】

博物館教室「昔の暮らし」は栗東の子どもたちが地域の歴史やその特徴に触れる貴重な機会と考え実施しています。来年度は折からの海外からの観光客の増加や万博の開催などで、学校行事で利用する観光バスが不足すると予測されています。今年度全市立小学校に参加いただくことになった成果を来年度も継続していけるよう、上記の問題を踏まえて積極的に市立小学校へ働きかけます。

4. 博物館施設の適正管理

【 内 容 】

博物館資料の収蔵環境の適正管理と施設利用者の利便性の確保のため、施設の維持管理や空調機器等の各設備の保守管理とともに、老朽化の進む施設・設備の突発的な不具合に対して必要な修繕等を実施します。

また、令和6年度には、水での消火が困難な区画である展示室と収蔵庫に設けているハロゲンガス消火設備に用いているハロゲンガスボンベの入替工事や、文化財搬入用に用いている荷物用エレベータの一部部品の更新工事、1階整理室に設置した空調機の更新工事を行います。

開館から30年以上が経過した施設の長寿命化を図るため、「栗東市公共施設等総合管理計画」にのっとりつつ、大規模改修について具体化を進めます。

【 成 果 】

職員の日常的な点検や、外部委託による保守点検や法定点検などを行い、適切に管理を行いました。また点検で確認できた修繕が必要な機器については適切に修繕を行っています。令和 6 年度に予定していた 1 階整理室の空調機の更新工事はすでに完了し、ハロゲンガスボンベの入替工事、荷物用エレベーターの一部部品更新工事は工事業者と契約を交わし、工事に向けて現在準備を進めているところです。

【 課 題 】

開館から 30 年以上が経過し、修繕が必要な個所が多くなっています。今後も財源の確保も含め無理なく施設、設備の改修、更新を順次行う方法を検討していきます。

5. 他の関連施設との連携事業の実施

【 内 容 】

文化ゾーンを形成する自然観察の森、図書館と歴史民俗博物館でこれまで秋季に時期を合わせてイベントを行い、それぞれの施設を行き来できるように促進してきましたが、令和 6 年度は秋季に 3 館合同のポスターを作る形での施設の利用促進を働きかけます。

【 成 果 】

自然観察の森、市立図書館とで、秋を楽しもう「三施設秋巡り」と題し広報を行いました。歴史民俗博物館の取り組みとしては、「栗東歴史民俗博物館クイズ！くりちゃんからの挑戦状 2024」と題して館内でのクイズラリーを実施しました。

【 課 題 】

特にありません。

参考資料

令和 6 年度

栗東歴史民俗博物館 重点目標「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して」

歴史民俗博物館では、歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる資料の収集・保存・調査・研究を進めます。その成果を基に通史展示「栗東の歴史と民俗」の充実に努めるとともに、4 本の特集展示等の展覧会を開催し、栗東の豊かな歴史と文化にふれる機会を提供します。また、大字単位で地域の歴史と文化を探求する“小地域展”では、治田地区から大字目川をとりあげ、地域資料の再発掘に努めます。

令和 6 年度には、公益財団法人栗東市スポーツ協会との協力により発掘調査成果展を開催し、近年の発掘調査の成果について広く公開します。また、栗東町制施行から 70 年の節目の年に当たることから、改めてまちの成り立ちや歩みについて紹介する展覧会を開催します。併せて、これらの展覧会の関連事業を企画する等、博物館事業の充実に図ります。

市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して、引き続き市民学芸員の会の活動を支援します。また、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣等の機会を活かし、歴史民俗博物館の活動をより広く発信する等、栗東の歴史や文化の普及啓発や歴史民俗博物館の利用促進に取り組みます。

一方で、施設や設備の老朽化への対応が喫緊の課題となっています。文化財の活用に関する社会的なニーズが高まりつつある中であって、文化財の収蔵・公開に適した環境を確保するため、施設や設備の年次的な更新に努めるとともに、大規模改修について具体的に計画します。

図書館

1. 図書館サービス事業

○実績

①図書館資料の収集

- ・一般図書：6,089 冊、児童図書：1,370 冊（内小林文庫 595 冊）、雑誌：171 誌、新聞：14 紙

②貸出及び資料提供

- ・貸出人数：74,313 人、貸出冊数 357,141 冊、予約冊数 43,322 件

③レファレンスサービス

- ・資料を使った調査について、窓口及び電話での受付、回答
- ・官報情報サービス、国立国会図書館デジタル化送信サービス等、インターネットを利用したサービスの提供

④子ども読書活動の推進

- ・おはなしタイム（職員による絵本の読み聞かせ等）
（本館）月 2 回（0～2 歳児対象 1 回、3 歳児以上対象 1 回）参加者 298 名
（西館）月 1 回 参加者 127 名
- ・おはなし会（ボランティアグループによる絵本の読み聞かせ等）
（本館）りっとうおはなしグループめるへん、月 1 回、参加者 258 名
（西館）おはなしグループタンタン、年 4 回、参加者 48 名
- ・子どもカレー食堂配本 月 1 回
- ・市内小学一年生対象巡回おはなし会 5～7 月 全 9 校
- ・小学生へのおすすめ本「ぷかぷか」夏休み号の全児童への配布 7 月
- ・小学校施設見学の受入れ 5 回
- ・小学校定期来館の受入れ 1 校

⑤図書館利用が困難な人への支援

- ・対面朗読：利用者 2 名、利用延べ回数 19 回
- ・録音図書貸出：貸出点数 252 点（内、郵送宅配貸出：利用者 5 名 20 回）
- ・音訳ボランティア養成講座（初級）4～6 月（全 6 回） 受講者 4 名
- ・外国語図書購入 8 冊

○成果

- ・収集計画に基づき、資料の収集を進め、貸出、レファレンスサービスを実施し、市民が必要とする資料を提供することができました。
- ・読み聞かせ等の定例行事や子ども向きイベントを、内容を見直しながら実施し、子どもの読書を推進することができました。
- ・図書館利用が困難な人に向けて、対面朗読や郵送宅配サービスを実施し、読書環境を維持することができました。

○課題

- ・資料購入について、価格の高騰が続いており、資料費の増額が必要です。
- ・読み聞かせ等の行事は、継続しての読書や来館につながるよう、工夫しながら継続していく必要があります。
- ・視覚障がい者用の音訳図書作成について、読書環境の変化やデジタル図書規格のアップデートに対応できるよう、機材の更新を進めるとともに、ボランティアのスキルアップの機会を確保していく必要があります。

2. その他事業

○実績

①子どもの読書推進事業の充実

- ・乳幼児連れ来館者を対象とした会議室開放「あかちゃんひろば」を実施 週1回
- ・移動図書館（小型バンによる幼児園への出張貸出）の運行 7園、月1回
- ・小学生向けイベントの実施
 - 一日図書館員体験 8月 参加者 18名
 - 講座「生きものからの挑戦状」 8月 19名
 - ちよっとこわいおはなし会 8月 参加者 18名
 - 冬休み工作教室 12月 参加者 20名

- ・中高生向けおすすめ本コーナー「ホントノデアイ」拡充 1月

②本を紹介する刊行物の発行、特集展示の充実

- ・本を紹介する「図書館だより」（大人向け）、「ぶかぶか」（子ども向け）の発行 月1回
- ・図書のテーマ展示 月1回
- ・「平和のいしずえ」 平和に関する図書の展示 7～8月
- ・司書のおすすめする一冊「シショイチ」 月1回 インターネット上でも紹介

③市民参画事業の実施

- ・図書館ボランティア活動 週1回
- ・としょかんまつり（本館） 図書館ボランティア「マロン」との協働事業 11月

④3施設連携事業の実施

- ・3施設秋めぐり（図書館、歴史民俗博物館、自然観察の森による連携事業）10月

⑤家庭や地域での読み聞かせ支援

- ・すくすく絵本タイム 10月 全2回、参加者 37名
- ・出張絵本講座（児童館等での絵本講座） 全3回、参加者 52名
- ・学校司書への研修 毎月1回 対象：学校司書2名

○成果

- ・移動図書館や絵本講座の実施により、子どもたちが身近な場所で絵本の楽しさに触れる機会を提供することができました。
- ・小学生向け行事の実施により、小学生の来館を促し、本や図書館に親しむ機会を提供することができました。

- ・刊行物による本の紹介や特集展示は継続して実施しており、市民が新しい本と出会い、自らの世界を広げる機会となっています。
- ・図書館ボランティアとの協働事業の実施などにより、市民にボランティアに活動の機会を提供することができました。

○課題

- ・本の紹介について、常に市民の知的好奇心・読書欲求を刺激する魅力的なものとなるよう、工夫しながら継続していく必要があります。
- ・としょかんまつりや講座等の事業について、図書館を利用していない市民の来館のきっかけになるよう、魅力を高めていく必要があります。

3. 重点事業

①本館機能の充実並びに施設改修

- ・小荷物用リフト改修工事 9月
- ・高圧電気設備改修工事 10月

②西館機能の充実

- ・学習コーナー「学BASE（まなベース）」開設 1月

③子ども読書活動の推進

- ・移動図書館の訪問先の追加 4月・10月に各2園
(4月…葉山東幼児園・治田東幼児園、10月…大宝こども園、金勝第二保育園)
- ・YouTube 動画「赤ちゃんとおでかけ」を公開 11月

○成果

- ・本館の施設改修を行い、より安心して図書館を利用できるようになりました。
- ・西館に学習コーナー「学BASE」を開設し、子どもの居場所とするとともに、中高生向け図書コーナー「ホントノデアイ」を「学BASE」内に移動することで、子どもたちが本とつながる機会を作ることができました。
- ・移動図書館車の訪問先の追加により、より多くの子どもたちに、身近な場所で本に触れる機会を提供することができました。

○課題

- ・よく読書する家庭と全く読書しない家庭の二分化が進んでいる状況下、子どもが本や読書に触れる機会を確保するため、移動図書館の訪問先を市全域に広げる必要があります。
- ・開館から37年が経過し、改修が必要な設備が多くあります。計画的に改修を進めていく必要があります。